

【 声 明 】

戦争法廃止の野党統一候補実現を歓迎し、 北海道から国会へ送り出すために全力をあげる

本日、民主党北海道5区総支部、日本共産党北海道委員会5区選対本部、戦争させない北海道をつくる市民の会、池田真紀氏の4者が協定を締結し、「戦争法」廃止をめざす野党統一候補が実現した。道労連は、戦争法廃止をめざす野党統一の実現を歓迎するとともに、北海道から戦争法廃止をめざす議員を国会に送り出すために全力をあげてたたかう決意を表明する。

道労連は2016年1月24日に開催した第65回評議員会において、戦争法廃止に向け考え得るあらゆる取り組みを、組織の総力を挙げて実行する決意を固め合い、戦争法廃止の統一候補擁立を実現させ、その勝利のために支援し、たたかうための特別の選挙方針を確認した。また、2月10日には、声明「衆議院北海道5区補選で戦争法廃止の統一候補を早期に実現し、この北海道から戦争法廃止の国会議員を国会へ送る」を発出し、民主党北海道総支部連合会と日本共産党北海道委員会へ、国民の強い願いである「戦争法の廃止」を実現するための野党統一候補擁立を早急に実現させることを求める要請を行った。

戦争法廃止を求める多様な市民・市民団体の声に応え、様々な違いや事情をふまえて、戦争法廃止の野党共闘を前に進めるため、鋭意努力を重ねてこられた民主党北海道総支部連合会、日本共産党北海道委員会、戦争させない北海道をつくる市民の会に対し敬意を表する。同時に、いち早く戦争法廃止を訴え、その実現のために真摯に候補活動が続けながらも、戦争法廃止の野党共闘実現のために立候補取り下げを英断された橋本美香氏、日本共産党北海道委員会と5区選対本部のみなさんに心からの感謝と敬意を表する。

こうした関係者の並々ならぬ努力を結実させ、戦争法の廃止、立憲主義・民主主義の回復を実現するために、「戦争法の廃止を求める統一署名」を広げながら、野党統一候補となった池田真紀氏を国会に必ず送り出すために総力をあげてたたかう。

2016年2月20日

北海道労働組合総連合
議長 黒澤 幸一